

「博士課程教育リーディングプログラム」中間評価結果(様式)(案)

機関名		整理番号	
プログラム名称			
プログラム責任者		プログラム コーディネーター	

◇博士課程教育リーディングプログラム委員会における評価（公表用）

[総括評価]

- 計画を超えた取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を十分に達成することが期待できる。
- 計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。
- 一部で計画と同等又はそれ以上の取組もみられるものの、計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要である。
- 取組に遅れが見られる等、総じて計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するために当初計画の縮小等の抜本的な見直しを行い、見直し後の計画に応じて財政支援を縮小することが必要である。
- 現在までの進捗状況に鑑み、本事業の目的を達成できる見通しがないと思われるため、当該採択プログラムへの財政支援を中止することが必要である。

[コメント]

(大学限り開示)

事業実施に当たって、以下に留意事項及び参考意見がある場合は、それらを踏まえ、適切に対応願います。

また、留意事項は、フォローアップ及び事後評価などにおいて、その対応状況を確認することとしております。

なお、参考意見は、特にその対応状況を確認する趣旨のものではありませんが、事業実施に当たっての参考としてください。

[留意事項]

[参考意見]

非開示（文部科学省限り）

[当該採択プログラムの経費面に関するコメント]

購入した設備・機器がプログラムの規模やカリキュラムの内容にそぐわない、学生への支援が十分ではないなど、経費の効率的な使用の観点からお気づきの点がありましたら記入してください。